

大学生と農山漁村との連携事例



千里金蘭大学

実施主体名：栄養学部栄養学科 八木ゼミ

担当窓口

研究推進・社会連携センター

URL

<https://www.kinran.ac.jp/chiiki/>



活動内容

大阪府吹田市は近郊農業地域であり、なにわの伝統野菜の一つ「吹田くわい」の産地。地元生産者平野ファームの協力を得て、栄養学科の農業体験ゼミと八木ゼミが大学内や大学に隣接する千里北公園の一角で吹田くわいを栽培し収穫している。吹田市が主催する吹田くわいバケツ栽培も行っている。12月には雑煮などの正月料理だけでなく普段の料理にもアレンジできるようにくわい料理レシピを学生が開発し、吹田くわい料理教室を開催している。



きっかけ

おせち料理も嗜好が優先され、また、購入することも増えており、伝統的な日本の食材を知らない学生が増加してきた。吹田市役所とともに吹田くわいの認知度を向上する取り組みを探索していたところ、2017年に大学のある吹田市の特産の吹田くわいについて知りたい、市民に広めたいという思いに賛同した有志学生の参加を得て、活動をスタートした。



展望

学生にとって平野ファームでの農業体験は、食と農業の結びつきに関する学びを深める機会となっている。生産者の思いを届けるような新規レシピを開発、それらを利用した料理教室を継続開催し、吹田くわいをきっかけとした日本の伝統料理の継承に取り組む。学生の積極的な学びを軸に、吹田くわいや特産物を活かした商品開発や吹田市の地域振興に貢献したい。



1cm

吹田くわい

5月植付：平野ファーム 11月収穫：関係者、他大学の学生も

大学内での吹田くわい収穫

料理教室